資料３

みよし市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の進捗状況について

１　総合戦略とは

全国的な人口減少を契機に、２０６０年に人口１億人程度を確保するための長期ビジョンを踏まえ、２０１５年度（平成２７年度）から２０１９年度（平成３１年度）までの５か年の政策目標・施策をまとめたものです。【国の総合戦略】

こうしたことを踏まえ、地方においても、各地域の人口動向や将来人口の推計を行い（地方人口ビジョン）、各地域の動向に応じた政策目標・施策を策定しており、計画期間は国の総合戦略と同様となっています。【地方版総合戦略】(※)

なお、地方版総合戦略を実現するために、国は人的支援、財政支援、情報支援の３つの支援を行っており、本市においては、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金の財政支援を主に受けています。

※地方版総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第 10 条の規定により、市の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画です。

２　みよし市まち・ひと・しごと総合戦略（みよし市版地方総合戦略）

・平成 26 年 11 月：「まち・ひと・しごと創生法」公布・施行
・平成 26 年 11 月：国の「長期ビジョン」「総合戦略」を閣議決定
・平成 27 年２月　：「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」

⇩　踏まえ

・平成 27 年８月、平成 28 年２月：「みよし市まち・ひと・しごと創生会議」開催
・平成 28 年３月：「みよし市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び
「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

＜基本目標＞

【人口ビジョンでの視点】	【総合戦略での基本目標】
若い世代の就労･結婚･子育て･教育などの生活環境基盤の整備	**基本目標Ⅰ 安心して子育てできる環境づくり**
若年層を中心とした生産年齢人口の転入･定住の促進	**基本目標Ⅱ 暮らしたいと思える環境づくり**
健康寿命の一層の延伸	**基本目標Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくり**

３　みよし市行政評価委員会とみよし市地方版総合戦略との関わり

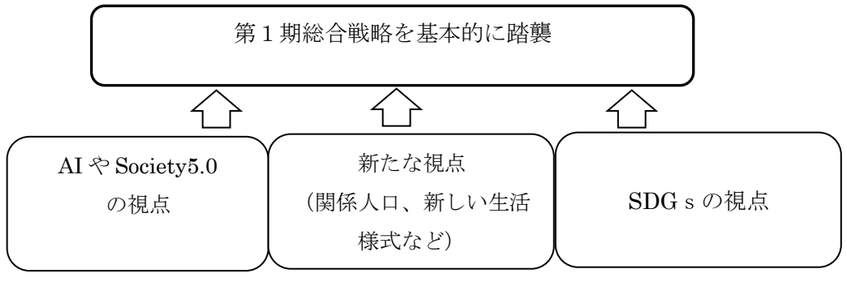
総合戦略では、掲げた個別の施策について、重要業績評価指標（ＫＰＩ）でその進捗や達成状況を評価し、今後の事業の方向性について発展、改善等の検証や有効性について検証していくこととしています。

総合戦略に掲げられた基本的施策や数値目標となる重要業績評価指標（ＫＰＩ）は、事務事業の内容に密接に関連しています。進捗状況について、庁内組織である「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議」で確認をしていますが、外部組織である行政評価委員会においても、その進捗や取り組み状況、重要業績評価指標（ＫＰＩ）について報告をさせていただきます。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）とは
組織や事業、業務の目標の達成度合いを測る定量的な指標のこと。
［Key　Performance　Indicator］

参考　第２期みよし市まち・ひと・しごと総合戦略の策定について

令和２年３月　（第１期）みよし市まち・ひと・しごと総合戦略の計画期間を１年延長
令和２年度　　第２期　みよし市まち・ひと・しごと総合戦略を策定します。
策定にあたっては、学識者や市内の各団体などの代表者から組織する「みよし市まち・ひと・しごと創生会議」を組織し、意見を聞きながら、年度内に策定する。



みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証

S:達成割合≧100%
A:100%＞達成割合≧80%
B:80%＞達成割合≧60%
C:60%＞達成割合

基本目標	基本的施策	数値目標・KPI		実績 令和元年度末	H26年度（基準値）	令和元年度（目標値）	達成割合 実績(令和元年度末)÷目標値(令和元年度)	評価
Ⅰ安心して子育てできる環境づくり		子育て支援の満足度（%）		39.9%	52.4%	58.0%	69%	B
		教育の充実の満足度（%）		41.7%	56.3%	62.0%	67%	B
	①結婚・出産の希望に関する支援	男女の出会いの場参加者数（人）		53	－	100	53%	C
		男女の出会いの場参加者による結婚成立組数（累計）（組）		5	－	15	33%	C
		出生数（人）		546	656	690	79%	B
		婚姻率（%）		5.2%	5.7%	6.0%	87%	A
	②子ども・子育てに関する支援	児童館・集会所　年間延べ利用者数（人）		100,623	132,294	135,000	75%	B
		子育てふれあい広場年間延べ利用親子組数（組）		24,670	21,400	30,000	82%	A
		休日保育利用者数（人）		464	134	650	71%	B
		子ども会加入率（%）		79%	84%	90%	88%	A
	③学校教育の充実	少人数学級（35人学級）の実施状況	小学校	全学年	小学校第1～3学年	小学校第1～4学年	100%	S
			中学校	全学年	中学校第1学年	中学校第1～2学年	100%	S
		学校評価アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童生徒の割合（%）	小学校	92.0%	92.1%	95%	97%	A
			中学校	88.5%	89.5%	92%	96%	A
		普通教室への空調機器設置率（%）	小学校	100%	－	100%	100%	S
			中学校	100%	－	100%	100%	S
	④仕事と生活の調和に関する支援	放課後児童クラブ年間利用児童数（人）		491	376	480	102%	S
		3歳未満児入園者数（人）		395	310	430	92%	A
		就労支援セミナーの開催（回）		12	－	10	120%	S

みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証

S:達成割合≧100%
A:100%＞達成割合≧80%
B:80%＞達成割合≧60%
C:60%＞達成割合

基本目標	基本的施策	数値目標・KPI	実績	H26年度（基準値）	令和元年度（目標値）	達成割合	
			令和元年度末			実績(令和元年度末)÷目標値(令和元年度)	評価
Ⅱ暮らしたいと思える環境づくり		緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度（%）	46.9%	68.4%	74.0%	63.4%	B
		安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度（%）	33.4%	57.5%	63.0%	53.0%	C
	①多様な世代を誘引する仕組みづくり	住宅着工件数（棟）	243	379	380	63.9%	B
		転入・転出人口比率（%）	95.0%	99.6%	102.0%	93.1%	A
		起業・創業件数（累計）（件）	21	0	3	700.0%	S
		新たな進出企業数（累計）（件）	1	0	2	50.0%	C
	②公共交通ネットワークの確保	さんさんバス利用者数（人）	280,590	269,786	272,000	103.2%	S
		名鉄バス利用者（人）	41,223	40,513	42,000	98.2%	A
		駅乗降者数（黒笹駅・三好ヶ丘駅）（人）	4,833,749	4,257,538	4,410,000	109.6%	S
		公共交通対策の満足度（%）	33.4%	40.0%	55.0%	60.7%	B
	③安全・安心なまちづくり	防災訓練参加率（%）	28.2%	17.2%	20.0%	141.0%	S
		防災ラジオ普及台数（累計）（台）	1,855	－	1,000	185.5%	S
		耐震診断実施件数（累計）（件）	857	526	930	92.2%	A
		耐震改修補助件数（累計）（件）	155	119	270	57.4%	C
		防犯灯設置数（累計）（基）	2,396	2,200	2,350	102.0%	S
		安全のみどり線延長距離（m）	14,347	7,772	17,000	84.4%	A
	④魅力と活力のあるまちづくり	シティプロモーション動画閲覧数（累計）（回）	32,286	－	4,000	807.2%	S
		NPO法人数（法人）	10	13	18	55.6%	C
		図書館来館者数（人）	269,905	80,556	289,000	93.4%	A

みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証

S:達成割合≧100%
A:100%＞達成割合≧80%
B:80%＞達成割合≧60%
C:60%＞達成割合

基本目標	基本的施策	数値目標・KPI	実績	H26年度（基準値）	令和元年度（目標値）	達成割合	
			令和元年度末			実績(令和元年度末)÷目標値(令和元年度)	評価
Ⅲ誰もが健康に暮らせる環境づくり		福祉対策の充実の満足度（%）	39.2%	54.7%	60.0%	65.3%	B
		保健・医療対策の充実の満足度（%）	45.3%	66.3%	72.0%	62.9%	B
	①健康づくりの支援	要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合（%）	87.4%	88.2%	89.0%	98.2%	A
		地域包括支援センターの設置数（ヶ所）	3	1	3	100.0%	S
		総合体育館トレーニングルームの年間利用者数（人）	18,528	4,213	10,000	185.3%	S
		都市公園の供用面積（ha）	54.99	51.81	55	99.98%	A
	②生きがいづくりの支援	生涯学習講座数（講座）	202	160	200	101.0%	S
		生涯学習講座受講者数（人）	2,334	2,563	4,500	51.9%	C
		生涯学習活動団体数（団体）	104	96	100	104.0%	S
		生涯学習活動人数（人）	1,918	1,914	2,000	95.9%	A
		発表会等行事参加団体数（団体）	123	115	120	102.5%	S
		発表会等行事参加者数（人）	15,907	9,576	10,000	159.1%	S
		福祉ボランティアの活動件数（件）	283	314	330	85.8%	A
		シルバー人材センターの登録会員数（人）	367	367	405	90.6%	A

地方創生推進交付金（平成２９年度～令和元年度）を活用した事業概要

１　みよし版　ネウボラ強化事業

（１）背景・課題

2010 年総務省統計局「地域別統計データベース」によると、本市は核家族世帯が 63.47％であり、隣接都市と比べても割合が高い。（豊田市 54.97％、日進市 61.58％、刈谷市 53.75％、長久手市 54.95％、豊明市 61.96％）そのため、地域のつながりの希薄化等で母親が妊娠期から１人で悩み、産前産後の心身の不調・家庭環境の問題等が起こっている。

また、2014 年には年少人口・生産年齢人口ともに転出超過となった。その結果、2015 年を境に年少人口と老年人口の割合が逆転しており、今後も年少人口は減少することで、高齢化率が高まり、市全体の活力低下を招くことが課題である。（平成 29 年１月１日現在　年少人口割合 16.61％　生産年齢人口 66.42％　老年人口 16.97％）

（２）事業概要

平成 29 年４月に子育て総合支援センターを開設し、市民が子育てに関する悩みの相談を受けること、ファミリーサポートセンターの利用や子育てふれあい広場の提供等の多種多様な子育て支援の窓口を一本化することにより、子育て世代の意見とのマッチングを効率的に行うこと、また、スマホ用の子育てアプリを作成し、予防接種や子育てに関するイベント情報も一括で確認でき、子育てに関する情報を容易にすることで「子どもを生み・育てやすいまち」としての環境を整える。

さらに、就学前の子どもだけではなく、就学後の児童や子育ての悩みや不安を持つ保護者に対して、子どものしつけ方等の講座を開催することや、家庭・地域・学校が連携して家庭教育を推進し、地域ぐるみで子育てをすることで、妊娠期から学童期までの幅広い年代の子育て環境を整えるために「みよし市版　ネウボラ強化事業」を推進する。

みよし市版ネウボラ強化事業が安定化した後に、女性の社会進出を後押しし、「働き方改革」にも繋げることを検討する。

（３）目的・効果

本市の総合戦略では、平成 72 年（2060）に人口規模 64,000 人を維持することを目標としている。

そのためには、出生数の増加を図るとともに、子育て世代の他市町村への転出を抑制し、都市部からの移住（ＵＪＩターン）を促進することにより、年少人口・生産年齢人口を維持・増加していくことが最優先課題である。その課題を解消することにより、人口規模の維持につながり、総合戦略で掲げた人口規模を達成できると考える。

最終的には高齢化を抑制し、市全体の活力を維持・増大することを目標とする。

（４）目標設定と実績

ＫＰＩ	事業開始前（指標値）	平成 29 年度実績（H30.3）	平成 30 年度実績（H31.3）	令和元年度実績（R2.3）	事業終了時の目標値（R2.3）
出生数（人）	600 人	610 人	541 人	546 人	690 人
人口（人）	60,907 人	61,070 人	61,153 人	61,040 人	61,742 人
子育て総合支援センターの年間利用者数（人）	0 人	23,744 人	26,026 人	25,531 人	30,400 人

目標に対する実績では、これまで大規模な住宅開発地（三好根浦、潮見、南台など）への転入が完了し、人口の社会増が伸び悩んできている。また、若い世代の転入が少なくなったこともあり、出生数の減となっていることなどから、結果的に目標に到達することはできなかったと考える。

国の地方創生推進交付金を受けながら実施した「みよし市版ネウボラ強化事業」では、KPI においては、目標を達成することができなかったが、今後のみよし市を担う子どもやその親世代を対象にした子育て総合支援センターの円滑実施やスマホ用子育てアプリ「みよぴよ！」の立ち上げにつなげることができ、子育ての情報ナビとして有効に活用されている。

（５）今後の展開・方向性

国からの支援は終了するものの、これまで実施してきたファミリーサポート事業や子育てアプリなどをさらに効果的に実施・利用できるよう事業を進めていく。

これらの事業と関連させ、家庭教育などの施策と併せ、子どもを産みやすい・育てやすい環境と子どもへの教育支援や健全育成を推進していく。さらには、こうした取組により、保護者が子育てしながらも働きやすい環境に結び付けていくこととしたい。